

「第17回 住友理工チャリティーコンサート」開催

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長兼 COO：松井徹）は10月23日（日）、「第17回 住友理工チャリティーコンサート」を小牧市民会館ホール（愛知県小牧市）で開催しました。ご招待した約1,300名の皆様に、クラシック音楽を楽しんでいただきました。



本コンサートは、当社設立70周年を記念して2000年に初めて開催し、今回で17回目を迎えました。当社の社会貢献活動における「まちづくりへの貢献活動」として、また、当社周辺地域の皆様への感謝の思いを込めて公募・抽選を実施し、無料でご招待しているイベントです。

今回の公演も、当社が支援をしている中部フィルハーモニー交響楽団と、世界中で高い賛辞を受けている秋山和慶氏（同交響楽団アーティストック・ディレクター／プリンシパル・コンダクター）を指揮者にお迎えしました。“哀愁の東欧”と題して、スメタナ作曲「連作交響詩『わが祖国』から“モルダウ”」、ドヴォルザーク作曲「交響曲第9番ホ短調 op.95『新世界より』」を披露。また、ゲストにピアニストの広瀬悦子氏が登場し、チャイコフスキー作曲「ピアノ協奏曲第1番変ロ短調 op.23」をお届けしました。

来場者からは「親しみのある曲を生で聴けて楽しかった。素敵な音楽で、豊かな時間を過ごすことができた」などの声が聞かれ、皆様に喜んでいただけたようです。会場で寄せられた募金計約40万円は「住友理工あったか基金」の一部と合わせて、東日本大震災復興支援事業の一つとして被災者の皆様へのイベント「あったか・さんさん劇場」を開催して活用いたします。

今後も当社は、地域社会の一員であることを常に自覚し「良き企業市民」として、継続的な社会貢献活動を通じて、社会との信頼関係を築き、豊かな社会づくりに寄与してまいります。

以上